

令和元年度 地球温暖化対策実施状況書

愛知県地球温暖化対策推進条例第9条第1項の規定に基づき、令和元年度の地球温暖化対策実施状況書を取りまとめました。実施状況の概要は下記のとおりです。

記

1 温室効果ガスの排出の状況

(1) 温室効果ガス別の排出量(令和元年度)

温室効果ガスの種類	①エネルギー起源CO ₂		②非エネルギー起源CO ₂ (③を除く。)	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO ₂	④CH ₄	⑤N ₂ O
排出量 (t-CO ₂)	-		23,689	-	-	-
温室効果ガスの種類	⑥HFC	⑦PFC	⑧SF ₆	⑨NF ₃	⑩エネルギー起源CO ₂ (発電所等配分前)	合計(①～⑩)
排出量 (t-CO ₂)	-	-	-	-	-	23,689

(2) 補整後の温室効果ガス排出量(令和元年度)

補整後温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	23,689
--------------------------------------	--------

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況

(1) 基準年度、計画期間及び実績年度

基準年度	計画期間		実績年度
	計画開始年度	目標年度	
平成30年度	令和元年度	令和3年度	令和元年度

(2) 排出の抑制に係る目標の達成状況

温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ 、%)	基準年度の総排出量	目標年度の目標総排出量	削減率
		24,014	23,649
		実績年度の総排出量	削減率(実績)
		23,689	1.4%

(3) 達成状況とその主な要因

第1年度の総排出量は基準年度の総排出量に比べて325tの減少となり、基準年度比削減率が1.4%となった。

その要因について、廃棄物焼却量(湿重量)が65,111t(基準年度63,564t)で、廃プラスチック類の割合が17.22%(基準年度16.82%)と、それぞれ基準年度と比較して上昇したものの、廃棄物中の水分含有率が42.18%(基準年度38.88%)となり、乾重量での焼却重量が減少したことが挙げられる。